

図書だより



湊中学校学校図書館

忙しく時計の動く 師走かな (正岡子規)

12月は「師走」とも言われますが、その語源は、師(僧侶)が馳せる、つまり師がお経をあげるため走りまわっていく忙しかつたからというのが有名です。「しはす(しわす)」という言葉は日本書紀や万葉集の頃から登場する古い言葉で、日本書紀の頃は「十有二月」と書き、『万葉集』の頃は「十二月」と書いて「しはす」と読む歌があったようです。正岡子規が読んだ冒頭の句のように、時間の長さは変わらないのに「師走」と聞けば時計の針さえも忙しく動いているように感じるのは、昔も今も変わりがなくないのかもしれないね。何かと忙しいと師走ですが、今年のうちに読みたい本をぜひ探して図書館に来てくださいね。

11月の統計



学 年 別 貸 出 冊 数			
1 年	2 年	3 年	合 計
95冊	105冊	94冊	273冊

最 多 貸 出 ク ラ ス			
学 年 別	1-2 (男子)	15冊	
ベ ス ト	2-3 (女子)	18冊	
リーダ-	3-3 (女子)	14冊	

冬 休 み 特 別 貸 出

冬期休業に伴い、特別貸出を実施します。いつもよりたくさん本を、長期間借りることがができます。ぜひ活用してください。

貸出し期間: 12月17日(火)~12月20日(金)

貸出し冊数: 1人5冊まで

返却期限: 1月10日(金)

※冬休み中の開館はありません

※1月9日(木)から通常開館します。



借りている本の返却期限が過ぎていませんか？

—あなたが借りている本にまだ出会っていない人もたくさんいるので、返却にご協力をお願いします—

12月の終わりのことを「年の瀬」とも言いますが、これは借金を年内に返済しなければならぬ江戸時代の習慣から生まれた言葉です。「瀬」とは川の流れが強く、急流で船が渡るのが困難な所を言います。江戸庶民の生活は後払い(ツケ)がほとんどで、その未払いを年末にまとめて支払って、新たな年を迎える習慣がありました。しかし、多くの「ツケ」がある人や、お金がない人にとっては年越しは一大事。「ツケ」の支払いの困難さを「川の瀬」にたとえて「年の瀬」と表現していました。

図書館での借りともいえる未返却の本はありませんか。夏休み前に借りた本をずっと借りたままでという人もちらほら。今年はすべての本を一旦返却してから、冬休み特別貸出しで本を借りて年越しをしてくださいね。



クリスマス
おはなし会

今年もクリスマスの季節がやって来ました!毎年図書委員が朗読会を行ってきましたが、今年では初めてスペシャルゲストスピーカーをお呼びして素敵な本を読んでもらいます!

日 時: 12月18日(水)、19日(木) 12時50分~

場 所: 4階 図書館

ゲストスピーカー: 12月18日 斎藤先生 12月19日 椎名先生

「どんな本かは当日のお楽しみ」



裏面もあります